十四　想定元金額の計算方法　各利子支払期及び償還期限における想定元金額は、各利子支払期及び償還期限の属する月の三月前の消費者物価指数（総務省統計局が統計法（平成十九年法律第五十三号）第二条第四項に規定する基幹統計である小売物価統計のための調査の結果に基づき作成する全国消費者物価指数のうち生鮮食品を除く総合指数をいう。以下同じ。）を百・〇で除して得た数（小数点以下第三位未満の端数があるときは、これを四捨五入したもの。）に額面金額を乗じて得た額とする。ただし、消費者物価指数が公表された場合には、財務大臣が定める日以降の各利子支払期及び償還期限における想定元金額は、財務大臣が定める方法により算出される数（小数点以下第三位未満の端数があるときは、これを四捨五入したもの。）に額面金額を乗じて得た額とする。

十五　経過利子の払込み　募入決定の通知を受けた者は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を第二十二号に規定する期日に払い込むものとする。

$$\text{額面金額の総額} \times 1.001 \times \frac{0.1}{100} \times \frac{30}{365}$$

十六　初期利子　平成二十六年三月十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十八号において規定する期日について同じ。）。

$$\text{第十四号の規定により算出された想定元金額} \times \frac{0.1}{100} \times \frac{1}{2}$$

十七　第二期以後の利子　毎年三月十日及び九月十日を支払期とし、各支払期において、次の算式により算出した金額を支払う。

$$\text{第十四号の規定により算出された想定元金額} \times \frac{0.1}{100} \times \frac{1}{2}$$

十八　償還期限　平成三十五年九月十日

十九　償還金額　第十四号の規定により算出された償還期限における想定元金額ただし、当該想定元金額が額面金額を下回る場合には、額面金額とする。

二十　元利金支払場所　日本銀行

二十一　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者

二十二　払込期日　平成二十五年十月十日

## ○財務省告示第三百四十八号

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十五年十月二十四日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十五年十一月六日

財務大臣　麻生　太郎

一　名称及び記号　利付国庫債券（二十年）（第百四十六回）

二　発行の根拠法律及びその条項　財政法（昭和二十二年法律第三十四号）第四条第一項及び財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律（平成二十四年法律第百一号）第二条第一項並びに特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項及び第六十二条第一項

三　振替法の適用等　社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。

四　発行方法　価格を競争に付して行われる入札（以下「価格競争入札」という。）による発行（以下「価格競争入札発行」という。）及び価格競争入札と同時に行われる入札であって、財務大臣が各国債市場特別参加者ごとに応募限度額を定めるものによる発行（以下「国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行」という。）

五　募入決定の方法

イ　価格競争入札発行　各申込みのうち応募価格の高いものからその応募額を順次割り当てる。

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　各国債市場特別参加者ごとの応募限度額の範囲内において各申込みの応募額を割り当てる。

六　発行額

イ　価格競争入札発行　額面金額で一兆九百五十七億円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　うち、財政法第四条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で五百五十億九千七十万円、財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律第二条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で四千三百七十三億四千三百万円、特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で五千九百三十六億百三十万円、同法第六十二条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で九十六億六千五百万円

七　払込金額

イ　価格競争入札発行　特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債について、額面金額で千三十四億円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　一兆千三百三十六億六千九百十万円

八　最低額面金額　千六十九億八千七百九十八万円

九　振替単位　五万円　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

十　発行日　平成二十五年十月二十四日

十一　発行価格

イ　価格競争入札発行　額面金額百円につき百三円四十銭以上のそれぞれの応募価格

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　額面金額百円につき百三円四十七銭

十二　利率　年一・七パーセント

十三　経過利子の払込み

(一)　募入決定の通知を受けた者は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を第二十号に規定する期日に払い込むものとする。

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{1.7}{100} \times \frac{34}{365}$$

(二)　発行時において、その利子に係る所得税が源泉徴収されるものとして振替口座簿中の口座に記載又は記録されるものについては、前記(一)の算式により算出した金額から当該金額に百分の二十・三一五を乗じた金額（ただし、当該国債を発行時において取得する者が非居住者又は外国法人である場合には、前記(一)の算式により算出した金額に当該非居住者又は外国法人が適用を受ける所得税の税率を乗じた金額）を控除することができる。

十四　初期利子　平成二十六年三月二十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十六号において規定する期日について同じ。）。

$$\text{額面金額} \times \frac{1.7}{100} \times \frac{1}{2}$$